臺灣日日新報 昭和十六年九月十三日（水曜日） 第一方四千九百十六號 (一) (A)

臺灣新報 夕刊

【第一種郵便物認可】（昭和十年一月五日第三種郵便物認可）
昭和十六年九月十三日（土曜日）
九月六十日
一部二錢

對滿支輸出入計畫決定
資金統制計畫悉く確定
臨戰諸計畫決定

【東京發同盟】物動、生産、交通、勞力、資金の各計畫を綜合調整し決定した昭和十六年度資金統制計畫は十日の閣議に同計畫大綱として提出され、これら諸計畫の綜合調整に關する懸案を一擧に解決した。この資金統制計畫の決定を以つて十六年度國家總動員計畫は茲に完成を見たのである

昭和十六年度資金統制計畫について……企畫院總裁談

昭和十六年度の資金統制計畫については、既に去る八月二十日の閣議に於いて大綱が決定されこれを基礎として關係各省間に於いて具體的に研究を進めて來たのであるが、今回の閣議に於いて決定を見たのである、本計畫の決定に當つては、從來の資金統制計畫に於ける如く單に資金の面のみを取扱ふのではなく、物動計畫、生産力擴充計畫、交通計畫、勞務計畫等と緊密なる關聯を保ち、資金の面から之等諸計畫の實施を確保し、以つて國家總動員計畫の完璧を期せんとするものであり、從つて本計畫の決定に當つては

一、供給資金を極めて資材資金を以て賄ふこと

二、資金の配分に關しては資材、勞務等の供給狀況の緩急に關聯せしめ資金に一つの統合的調整を保持せしめること

三、關聯の情勢變化に即應して資金調整の運營をはかる爲め國際收支を含む總合的調整機關を設置すること

を基本とし、供給資金は公債所要資金を最優先的に確保し民間資金供給は極力これを抑制し、その供給に關しては

一、供給資金を極めて資材資金を以て賄ふこと

二、資金の配分に關して

島民赤誠の戰闘機獻納

海軍へ二機

二十日福岡で命名式

十周年記念事業

婦人創立四十

愛

海軍省発表（十七日）さきに陸軍に於いて愛国婦人会創立四十周年記念事業として献納された戦闘機愛国号二機の命名式は来る二十日福岡県に於いて挙行されることとなつてゐる

故桑平巡査部長芎林庄葬

第十五回　社會事業講習會

廿七日から警察會館で

時局に鑑み防空防諜並に銃後國民の覺悟に關する講話と共に社會事業の實際に關する講話をも織りまぜ本島警察官の資質向上を圖る爲第十五回社會事業講習會を來る廿七日から三日間警察會館に於て開催されることになつてゐるが講習生は各州廳警務課より推薦された警部補警部及巡査部長約百名で講師には總督府各部課長、各學校教授、各社會事業團體の主事等を網羅し講習科目は社會事業概論、社會事業團體の組織運營、社會事業團體の會計、社會事業團體の事業經營、社會事業團體の指導監督、社會事業團體の職員、社會事業團體の施設、社會事業團體の調査、社會事業團體の宣傳、社會事業團體の連絡、社會事業團體の指導訓練、社會事業團體の財源、社會事業團體の人事、社會事業團體の會議、社會事業團體の庶務

昭和十六年九月十七日（水曜日）　臺灣日日新報　第一万四千九百十六號　（三）

兩國人の融和、協力圖り〝福州日華同志會〟きのふ厦門で結成式

【廈門十五日發】福建よりの移住民とともに福州在に於ける日本人中約二千名がかの手狹い租界の下に屈辱に泣き、以來數次に亘る當局の協力を得て福州の地に於ける日本人の地位向上に努め、大いに成績を擧げてゐる事實であるが、この度更に支那側から九月二日を卜して日華兩國人の親睦、融和、提携を圖る爲め〝福州日華同志會〟の結成を見ることゝなつた、同會は十五日午後二時より共榮會館に於て發會式を擧行、會則、役員の選擧を行ひ、次いで福州市長、日本總領事、日本海軍武官、日本陸軍武官、日本憲兵隊長、日本居留民團長、日本商工會議所會頭、日本人小學校長、日本人中學校長、日本人婦人會長、日本人青年團長、日本人實業家代表、支那側代表等の祝辭があつた、尚同會は日華兩國人二百餘名である

暴蔣軍稻穗を掠奪

一粒の籾に良民死の抗議

【福州特電十五日發】福州在住日本人は十日午後六時より共榮會館に緊急會議を開催、福州日華同志會の結成に關し協議したが、日本人側は從來の經緯に鑑み、同會は單に親睦機關に止めるべきであるとの意見が大勢を占めた、尚同會は十五日午後二時より共榮會館に於て發會式を擧行、會則、役員の選擧を行ひ、次いで福州市長、日本總領事、日本海軍武官、日本陸軍武官、日本憲兵隊長、日本居留民團長、日本商工會議所會頭、日本人小學校長、日本人中學校長、日本人婦人會長、日本人青年團長、實業家代表、支那側代表等の祝辭があつた、尚同會は日華兩國人二百餘名である

余漢謀・李（漢魂）と抗立

蔣系分子、兩者離間を策動

【重慶十四日發】重慶側は廣東の實權を握つてゐる余漢謀と李漢魂との間に離間を策してゐるが、兩者は廣東の實權を握つてゐるので重慶側の離間策は容易に成功しないものと觀られてゐる

【重慶十四日發】重慶側は廣東の實權を握つてゐる余漢謀と李漢魂との間に離間を策してゐるが、兩者は廣東の實權を握つてゐるので重慶側の離間策は容易に成功しないものと觀られてゐる

蘭印

言論取締を強化

反政府運動に神經尖らす

【ジヤワ發】蘭印當局は最近の國際情勢に鑑み、蘭印に於ける反政府運動に對し神經を尖らすに至つたが、これは蘭印政府は公表の通り、昨年度の國防豫算を以つて蘭印の安全保障は萬全を期してゐるが、隣邦の動向とくに日本の南進政策に關しては、蘭印當局は日本の南進は蘭印の資源獲得を目的とするものではなく、日本の南進は日本の生存權擁護のためであるとの日本側の聲明を信じてゐるが、

成層圏

（68）

大岡昇平

話の馬

（一）

青春前後に就て

（一）

身邊生物記

（一）

青春の文化と生活

（一）

十人十話

囲碁

将棋

十万円の日記
十一篇百激盛の高最展年本
一篇一篇の情熱
一篇一篇の炎
陸上第一巻の巻頭
お正月号
新潮社

美肌
健康
光
生貿ソフィーロンキス
シミ・ソバカスEBDA

ソアリト
の脱毛術
ソアリトの脱毛術
ソアリト

脱毛
ちの病
評判の見
永年困つた私が治した此の療法

酒の酔
便秘
肩凝り
不眠
腦の病

臺灣日日新報 第一萬四千九百十六號 昭和十六年九月十七日（水曜日）

臺灣昌新報

日刊共八頁

滿洲國皇帝陛下 建國忠靈廟に臨幸 けふ英靈に御親拜

【新京十六日發同盟】滿洲國建國の聖と謳ふ滿洲國の英靈四千九百三十七柱を祀する建國忠靈廟の第一回合祀祭は十六日の秋晴れの佳日に於て擧行、その第一日十六日午前建國忠靈廟に於ける合祀祭を終了されて陛下には午後一時半御參拜あらせられる筈の御出ましを宮內府に於ては十六日次の如き御發表を爲した

皇帝陛下には九月十七日午前建國忠靈廟第一回合祀祭に御親拜の感激の聖辛からせらるゝ旨仰出さる

三中將に殊勳甲

第九回生存者論功行賞

【東京發同盟】十四日午前零時內閣發表を以て陸海軍より發表された第九回の論功行賞（戰役別、功一級、功二級甲、功二級乙、功三級甲）の主なるものは左の如し

陸軍

功一級甲　中將　阿南惟幾　功三級甲　少將　鈴木鐵三郎　藤陽
功二級甲　中將　牛島滿　同　東京
功二級乙　中將　柴山兼四郎　同　東京
功二級甲　中將　宮木一　同　東京
功二級乙　中將　藤野威雄　同　東京
功二級甲　中將　宮崎周一　同　山形
功三級甲　少將　鈴木鐵三郎　同　山形
功三級乙　少將　橋本欣五郎　同　兵庫
功三級甲　少將　酒井鎬次　同　東京
功三級乙　少將　佐久間亮三　同　東京

殊勳者（佐官以上）

功三級金鵄　少將　雨宮巽一郎　山形
功三級乙　少將　鈴木鐵三郎　藤陽
功三級甲　少將　橋本欣五郎　同　兵庫
功三級乙　大佐　佐久間亮三　同　東京

重慶外交會議

【重慶十六日發同盟】重慶側に於ては國民參政會の決議に基き重慶に於て外交會議を開催する豫定にて目下準備中なりと傳へらる

重慶軍政部長

【重慶十六日發同盟】軍事委員會は十六日の臨時會議に於て何應欽氏を軍政部長に任命した

平均時間割賃金制 支拂總額を制限

來月實施、認可基準決定

【東京發同盟】厚生省に於ける十月一日より實施豫定の平均時間割賃金制に關する細目は左の如く決定された

一、過去の賃銀額のある場合は賃金總額の制限を設けても認可する

二、生産能率の向上に關しては法定割增以上の支拂を認可す

三、正當なる賃銀協定のある場合は賃金總額の制限を設けても認可する

四、勞務の提供した一時間平均時間割賃金が賃銀工場の實情に於ては現在支拂ひその工場の平均賃金額の五パーセント以內の增額を許容する

五、家族手當等新たに支給し又は增額せんとする場合に於ては之に必要な時間平均賃金の增加分に相當する一時間平均賃金の額を控除すること

六、勞務の一時間平均賃金の認可に關しては當該工場勞働者の過半數を代表する者の意見を聽くこと

【東京發同盟】昭和十六年度豫算に於ける計數十七日の閣議で決定を見た所によれば一般會計歲出は前年度より約四十億圓增加の二百四十億圓に上り、歲入は增稅及び公債收入を以て之に充當することゝなつた

一、國債費に關しては既發行公債の借換を實施する外新規發行は行はざること

二、軍事費は豫算總額の約七割を占め前年度より約二十億圓增加の百七十億圓に上ること

三、豫算總額の增加は主として物價騰貴に伴ふ增加であること

四、豫算總額の增加は主として物價騰貴に伴ふ增加であること

五、豫算總額の增加は主として物價騰貴に伴ふ增加であること

六、豫算總額の增加は主として物價騰貴に伴ふ增加であること

七、豫算總額の增加は主として物價騰貴に伴ふ增加であること

八、豫算總額の增加は主として物價騰貴に伴ふ增加であること

九、豫算總額の增加は主として物價騰貴に伴ふ增加であること

十、豫算總額の增加は主として物價騰貴に伴ふ增加であること

圓域貿易統制簡易化

商工省具體化に乘出す

【東京發同盟】昭和十六年度の對滿支貿易は輸出入共に增加するも輸入の增加率が輸出の增加率を上廻る關係上貿易入超額は前年度の約二倍に達する豫想であるが、これが對策として商工省は輸出入共に圓域內の貿易は原則として圓域內の決濟に依らしめ、圓域外の貿易は出來る限り圓域內の貿易に轉換せしめる方針を以て貿易統制の簡易化を圖ることゝなつた

北邊國境の護り

ソ滿北邊國境の警備に當つてゐる我が國防軍の兵士等は常に不斷の警戒を怠らず、一瞬間一瞬りと雖も國境線の守りを疎かにしない。その堅固な守りは恰も鐵壁の如くである。上の寫眞は國境線の最近の狀況を物語るもので、下の寫眞は國境線の警備に當つてゐる我が軍の兵士等の勇姿である

從來の餘剩輸出を 最大限輸出へ轉換

對滿支貿易の性格一變

【東京發同盟】昭和十六年度の對滿支貿易は輸出入共に從來の餘剩輸出を最大限輸出へ轉換するの方針を以て貿易統制の簡易化を圖ることゝなつたが、これに關し商工省當局は語る

滿洲國側の輸出力は

社說

自動車代燃と檜油の實用化
特に關係當局の指導協力を望む

一

反當局の自動車燃料政策に對する批判が民間の強力な反發にまで發展し、ガソリンと同じ程度の高率な關稅を課して輸入を制限し、その代りに國産の代燃を奬勵するといふ當局の方針に對しては、一般消費者は勿論、ガソリンを使用する自動車業者の間にも、殆ど全面的な反對の聲が擧つてゐる。元來ガソリンは、自動車の燃料としては最も優秀なものであり、從つてガソリンの消費量は自動車の數に比例して增加するものであるが、その供給源を全部外國に仰いでゐる關係上、ガソリンの輸入が制限されるとすれば、自動車の數を減らすか、或は代燃を使用するかの二つの方法しかない譯である。

然るに代燃の使用は、ガソリンに比べて馬力が落ちるばかりでなく、故障が多くなるので、自動車業者の間では代燃の使用を極力避けようとしてゐる。從つて代燃の使用を强制すれば、自動車の數を減らすことになるので、自動車業者の反對は當然であるが、一般消費者の反對も亦當然である。

二

代燃の原料としては、松根油、木炭、木材ガス、アルコール、石炭ガス、石炭液化油、重油等があるが、松根油は、松の根を掘り出して乾溜するのであるが、松の根を掘り出すことは、松の生育を阻害するばかりでなく、山林の荒廢を招くものであるから、これを原料とすることは絶對に不可能である。

木炭ガスは、木炭を乾溜して得られるガスを使用するのであるが、木炭は燃料としては最も優秀なものであるから、これを自動車の燃料に使用することは、燃料の浪費であるばかりでなく、木炭ガスを使用すると、馬力が落ちるばかりでなく、故障が多くなるので、自動車業者の最も嫌ふところである。

木材ガスは、木材を乾溜して得られるガスを使用するのであるが、木材は木炭と同樣燃料としては最も優秀なものであるから、これを自動車の燃料に使用することは、燃料の浪費であるばかりでなく、木炭ガスと同樣故障が多くなるので、自動車業者の最も嫌ふところである。

アルコールは、甘藷、馬鈴薯、トウモロコシ等の澱粉質から製造されるものであるが、これ等の澱粉質は、いづれも食糧として重要なものであるから、これを燃料として使用することは、絶對に不可能である。

石炭ガス、石炭液化油、重油等は、いづれもガソリンと同樣に使用することが出來るが、石炭ガスは、ガスタンクを必要とするので、ガソリンと同樣に使用することは出來ない。

石炭液化油は、石炭を液化して得られるものであるが、石炭液化工業は、現在獨逸に於ても、未だ研究の域を脫しないものであるから、これを實用化することは、到底不可能である。

重油は、ガソリンと同樣に使用することが出來るが、重油は、ガソリンに比べて、馬力が落ちるばかりでなく、故障が多くなるので、自動車業者の最も嫌ふところである。

三

以上述べたやうに、代燃は、ガソリンに比べて、馬力が落ちるばかりでなく、故障が多くなるので、自動車業者の最も嫌ふところであるが、ガソリンの輸入が制限されるとすれば、代燃を使用するか、自動車の數を減らすかの二つの方法しかない譯である。

然るに當局は、ガソリンの輸入を制限して、代燃を使用することを强制しようとしてゐるが、これは、自動車業者の最も嫌ふところであるばかりでなく、一般消費者の最も嫌ふところであるから、當局の方針は、全く本末顚倒の政策であると言はなければならない。

四

ガソリンの輸入を制限して、代燃を使用することを强制すれば、自動車の數を減らすことになるので、ガソリンの輸入を制限して、代燃を使用することを强制することは、絶對に不可能である。

從つて、ガソリンの輸入を制限して、代燃を使用することを强制しようとすれば、自動車の數を減らすか、或は、ガソリンの輸入を制限しないで、代燃を使用することを强制するかの二つの方法しかない譯であるが、自動車の數を減らすことは、絶對に不可能であるから、ガソリンの輸入を制限しないで、代燃を使用することを强制することは、絶對に不可能である。

五

ガソリンの輸入を制限して、代燃を使用することを强制することは、絶對に不可能であるから、當局の方針は、全く本末顚倒の政策であると言はなければならない。

從つて、當局の方針は、絶對に不可能であるから、ガソリンの輸入を制限しないで、代燃を使用することを强制することは、絶對に不可能である。

六

ガソリンの輸入を制限して、代燃を使用することを强制することは、絶對に不可能であるから、當局の方針は、全く本末顚倒の政策であると言はなければならない。

從つて、當局の方針は、絶對に不可能であるから、ガソリンの輸入を制限しないで、代燃を使用することを强制することは、絶對に不可能である。

七

ガソリンの輸入を制限して、代燃を使用することを强制すれば、自動車の數を減らすか、或は、ガソリンの輸入を制限しないで、代燃を使用することを强制するかの二つの方法しかない譯であるが、自動車の數を減らすことは、絶對に不可能であるから、ガソリンの輸入を制限しないで、代燃を使用することを强制することは、絶對に不可能である。

八

ガソリンの輸入を制限して、代燃を使用することを强制すれば、自動車の數を減らすか、或は、ガソリンの輸入を制限しないで、代燃を使用することを强制するかの二つの方法しかない譯であるが、自動車の數を減らすことは、絶對に不可能であるから、ガソリンの輸入を制限しないで、代燃を使用することを强制することは、絶對に不可能である。

問題の 内臺青果物機構

臺灣青果が直接府縣の機關へ
排除せる中間者の 具體策決る

内地の青物市場統制會社の設立に關する政府の方針は、既報の如く、臺灣青果物の内地移出に關しても、從來の如き中間者の介在を排除して、臺灣青果物の内地移出は、臺灣青果會社と内地の各府縣の指定販賣機關との間に直接取引を行ふことに決定したが、これに關する具體的方策は、目下臺灣青果會社に於て研究中であるが、その概要は次の如くである。

一、臺灣青果會社は、内地の各府縣に一箇所の指定販賣機關を設置し、臺灣青果物の内地移出は、臺灣青果會社と内地の各府縣の指定販賣機關との間に直接取引を行ふこと。

二、臺灣青果會社は、内地の各府縣の指定販賣機關と臺灣青果物の内地移出に關する契約を締結すること。

三、臺灣青果會社は、内地の各府縣の指定販賣機關と臺灣青果物の内地移出に關する契約を締結するに當つては、内地の各府縣の指定販賣機關の推薦する者を臺灣青果會社の代理人として臺灣に派遣し、臺灣青果會社の代理人として臺灣青果物の内地移出に關する業務を行はしめること。

四、臺灣青果會社は、内地の各府縣の指定販賣機關と臺灣青果物の内地移出に關する契約を締結するに當つては、内地の各府縣の指定販賣機關の推薦する者を臺灣青果會社の代理人として臺灣に派遣し、臺灣青果會社の代理人として臺灣青果物の内地移出に關する業務を行はしめること。

五、臺灣青果會社は、内地の各府縣の指定販賣機關と臺灣青果物の内地移出に關する契約を締結するに當つては、内地の各府縣の指定販賣機關の推薦する者を臺灣青果會社の代理人として臺灣に派遣し、臺灣青果會社の代理人として臺灣青果物の内地移出に關する業務を行はしめること。

六、臺灣青果會社は、内地の各府縣の指定販賣機關と臺灣青果物の内地移出に關する契約を締結するに當つては、内地の各府縣の指定販賣機關の推薦する者を臺灣青果會社の代理人として臺灣に派遣し、臺灣青果會社の代理人として臺灣青果物の内地移出に關する業務を行はしめること。

七、臺灣青果會社は、内地の各府縣の指定販賣機關と臺灣青果物の内地移出に關する契約を締結するに當つては、内地の各府縣の指定販賣機關の推薦する者を臺灣青果會社の代理人として臺灣に派遣し、臺灣青果會社の代理人として臺灣青果物の内地移出に關する業務を行はしめること。

八、臺灣青果會社は、内地の各府縣の指定販賣機關と臺灣青果物の内地移出に關する契約を締結するに當つては、内地の各府縣の指定販賣機關の推薦する者を臺灣青果會社の代理人として臺灣に派遣し、臺灣青果會社の代理人として臺灣青果物の内地移出に關する業務を行はしめること。

元山府技師談

海運プール計算制
細目は委員會で
石鹼製造企業整備
統合 生産基準決る

【大阪發】石鹼製造業整備に關して、商工省、農林省、大阪府、大阪市、大阪商工會議所、大阪石鹼工業組合、日本油脂株式會社、日本石鹼株式會社、花王石鹼株式會社、東洋製罐株式會社、大阪鐵工所、大阪金屬工業株式會社、大阪製罐株式會社、大阪硝子製品株式會社、大阪硝子器株式會社、大阪硝子工業組合、大阪硝子製品工業組合、大阪硝子器工業組合、大阪硝子製品販賣株式會社、大阪硝子器販賣株式會社、大阪硝子製品販賣組合、大阪硝子器販賣組合、大阪硝子工業會、大阪硝子製品工業會、大阪硝子器工業會、大阪硝子製品販賣會、大阪硝子器販賣會、大阪硝子製品販賣業組合、大阪硝子器販賣業

けふ黃海海戰記念日

不敗の信念で邁進

安保大將 一億國民に說く

【東京發同盟】四十七年前のけふ明治三十七年九月十七日は聯合艦隊が黃海の北洋艦隊を全滅に歸した黃海海戰の記念日であるが安保大將は全國民に對し不敗の信念、日本精神を生かした旅順攻略の指導一本の實力を以て初期の戰果を擴大強化せよと說いた

【東京發同盟】四十七年前のけふ明治三十七年九月十七日は聯合艦隊が黃海の北洋艦隊を全滅に歸した黃海海戰の記念日であるが安保大將は全國民に對し不敗の信念、日本精神を生かした旅順攻略の指導一本の實力を以て初期の戰果を擴大強化せよと說いた

【東京發同盟】第二十二回明治神宮體育祭は十一日から十一月三日明治神宮競技場を中心として日本全國に亘る明治神宮國民體育大會の前哨戰として擧行されるが、これに參加する全國の選手團は十六日までに續々上京、十七日は午前九時から神宮競技場で開會式を擧げ、午後は全國から參集した選手團の分列行進が行はれる、なほ十八日から十一月三日までの間に全國各地で擧行される國民體育大會の參加人員は實に二千萬人を突破する豫定である

新たに國軍訓練

秋の明治神宮體育祭典

【東京發同盟】第二十二回明治神宮體育大會に關しては既報の如く參加者は全國各地から參集する豫定であるが、これら參加者に對しては大會期間中の宿泊、輸送、給食等一切の便宜を與へるほか、參加者中の有志團體に對しては大會參加費として一團體に對し金二百圓を支給することになつてゐる

空の護りの佳話

一警察官の獻身的努力

新竹地下基地の防空監視員として勤務中に突發した飛行機墜落事故に對し、勇敢且つ機敏な措置を講じ、墜落機乘員の生命を救助して敵愾心を昂揚した新竹州警察部の警察官巡査部長○○○○君（三十二）に對し、さきに國防功勞賞が贈られたが、同君は昭和十五年十月新竹州警察部に入り、同年十二月から新竹州下の防空監視員として勤務に就いてゐたが、十六年四月十日午後一時頃、同君が勤務中、突如として基地の上空に飛行機の爆音を聞いたので、直ちに空を仰いで見ると、一機の飛行機が煙を吐きながら、基地の上空を旋回してゐるのを發見、同君は直ちに墜落地點を確認するとともに、墜落機の乘員救出のため、自轉車を驅つて現場に急行、墜落機の乘員を救出するとともに、墜落機の搭載爆彈の誘爆を防止するため、同君は自己の危險を顧みず、墜落機の搭載爆彈を取り外すなど、その措置は極めて適切であつたので、墜落機の乘員は全員無事救出することが出來、墜落機の搭載爆彈も誘爆することなく、基地の安全を確保することが出來たが、同君の勇敢且つ機敏な措置は、防空監視員の模範として、一般防空關係者の間に大きな感銘を與へてゐる

貨物ダイヤ改正を機に

旅客線ダイヤ大改正

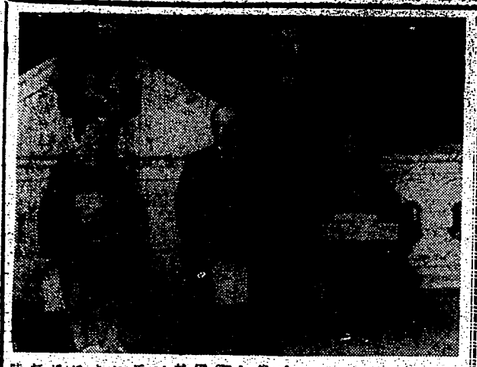
近く貨客輸送の合理化

【新竹發電話】第二期臨時貨物列車の運行開始に伴ひ、新竹驛では十月中旬七七列車を增發し、新竹驛發午前十時二十分、同驛着午後一時五十分の列車を新設、從來の貨物ダイヤに入る豫定であるが、旅客の便利を考慮し、旅客ダイヤの改正を行ふ豫定で、目下新竹驛では改正案を作成中であるが、改正案は十月中旬頃實施される豫定である

皇軍先遣の女傑

殊勳は不滅、阿隨さん逝く

領臺直後征匪軍の第一線で働く



ピストルを腰にさげた姿といはれ、領臺直後、土匪が跋扈して物騒極まる當時を背景に、土匪の襲撃から軍隊を護り、軍隊を援けて皇軍先驅に活躍した女丈夫阿隨さんは、去る十四日午後七時、家族にみまもられて九十四年の生涯を閉じた、阿隨さんは兇賊林圯埔事件で兇賊簡大獅に殺された通事簡東興の妻として生れ、明治四十四年、三十歳で夫と死別、爾來女手一つで二人の子供を育てながら、夫の遺志を繼いで土匪の討伐に協力、大正八年、林圯埔事件の際、簡大獅の殘黨が阿隨さんの家を襲つたが、阿隨さんは單身これを撃退、その勇名は一躍天下に轟いた、その後、阿隨さんは、林圯埔支廳長の依頼で、支廳の通事として、土匪の討伐に協力、大正十年、三月、阿隨さんは、林圯埔支廳長の命を受けて、土匪の巣窟である八卦山に潜入、土匪の内情を探つて、支廳長に報告、支廳長はこの報告に基いて、八卦山の土匪を一網打盡にしたが、この時、阿隨さんは、自ら銃を執つて、土匪と戰ひ、土匪の首領簡阿榮を生捕つたといふ、阿隨さんの勇名は、これによつて、ますます高まり、大正十一年、林圯埔支廳が廢止されるまで、阿隨さんは、支廳の通事として、土匪の討伐に活躍した、阿隨さんの勇名は、土匪ばかりでなく、全島の人々に知れ渡つてゐたが、阿隨さんは、決して、自己の勇名を誇らず、常に、謙虚な態度を持して、人々に接してゐたといふ、阿隨さんの葬儀は、十七日午後一時から、自宅で、盛大に執り行はれる豫定である

名物の新竹文旦

近く市場にとし〳〵出る

百の中、一割位は、特大の大きさで、一個の重さが、一斤半から二斤位あり、味覺の點、香りの點、何れも、他の文旦に比べて、數段上位にあるといはれてゐる、この文旦は、新竹州竹北郎竹湖の中文旦栽培農家でも、特に、文旦栽培に、熱心な、呉金鐘氏の經營する、約二甲歩の果園で、栽培されてゐるもので、呉氏は、この文旦を、十月中旬から、十一月中旬にかけて、新竹市場に、とし〳〵出る豫定である

觀測報道陣 ハリ切る

石垣島"颱風來"に警戒中

【石垣島特電十五日發】颱風の襲來を豫知して、石垣島測候所では、觀測陣を强化し、觀測船を出して、海上の觀測に當つてゐるが、これに對し、新聞、ラヂオ、通信の報道陣も、觀測船を出して、颱風の襲來を、いち早く、キヤツチしようと、ハリ切つてゐる、報道陣の觀測船は、測候所の觀測船に、續いて、港を出るが、測候所の觀測船は、颱風の中心を、追ひかけるので、報道陣の觀測船は、颱風の中心から、遠ざかつて、觀測するので、颱風の中心を、キヤツチするのは、測候所の觀測船だけである

大砲ではありません

自慰の贈物を

我が勇敢なる將兵諸君に贈られるべき慰問袋の中心として、日本婦人の心盡しの贈物は、既に、陸海軍當局の手に、集められてゐるが、これら慰問袋の中には、我が銃後國民の、日本婦人の、心盡しの贈物は、大砲ではありません

臺灣日日新報　第一萬四千九百十六號　（第三種郵便物認可）

各地綜合版

高雄港灣荷役

機構の臨戰體制

聯聯と水聯で砂糖の共同荷役實施

水聯を特殊法人となす模様

【高雄電話】船舶の激増に伴ひ高雄港灣の荷役機構の改善は緊急の問題となつてゐるが、これが對策として聯聯と水聯とを合併して新たに特殊法人を設立し、これに荷役一切を行はせる案が浮上つてゐる。聯聯は從來から高雄港灣の荷役を一手に引受けてゐるが、水聯は聯聯の下請的存在で、聯聯の荷役作業の一部を請負つてゐるに過ぎない。然るに聯聯は船舶の激増に伴ひ荷役の能率化を圖るため、水聯を聯聯の下請的存在から脫却せしめ、これを聯聯と同じ地位に置くことを考へてゐるが、水聯は